平成２２年度　事務事業評価

整理番号
23-1

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	10	01	01
細事業名	自治組織活動支援事業					

担当部局	担当課長の氏名
市民部	
担当課等	担当課長の氏名
市民協働課	山副　隆司
	担当者の氏名
	荻野　正樹

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅴ　パートナーシップ都市
	計画項目　（施策）	①　地域コミュニティの強化
	施策方針	1　地域自治活動への支援

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	地域住民の連帯感を育成し、住みよい地域社会の実現に向け、その基盤となる地域自治活動の活性化の支援及び市と地域との協働を推進する。	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）
				市からの依頼事務の円滑な実施　（市広報紙等の配布、地域環境の整備、集会施設の維持管理、地域要望のとりまとめ等）、市と地域の協働の推進。

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	各区長連連絡協議会等に対し、自治会活動の活性化支援及び市と地域の協働を推進するための交付金（地域振興交付金　123,721千円）を交付するとともに、各区長連絡協議会等の運営補助（協議会運営事業交付金　3,000千円）を行った。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	市からの依頼事務の円滑な実施　（市広報紙等の配布、地域環境の整備、集会施設の維持管理、地域要望のとりまとめ等）、市と地域の協働の推進。

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	9	103		国庫支出金		
	13	12		府支出金		
	14	6		起債		
	19	126,721		分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		126,842
事業費合計		126,842		合計		126,842

CHECK

評価				
目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか				
○	○　進捗している（できている）	理由	住みよい地域社会の基盤となる自治会活動の活性化に貢献した。また、市からの依頼事務（市広報紙の配布、地域環境の整備、集会施設の維持管理、地域要望のとりまとめ等）がほぼ円滑に実施されていることに大きく寄与している。	
	▲　少し遅れている（少しできていない）			
	×　遅れている（できていない）			
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか				
○	○　削減の余地がなかった	理由	地域自治組織の主体的かつ積極的な活動を、より一層促す必要性がある。	
	▲　少し削減の余地があった			
	×　削減の余地があった			

ACTION

改善				
事業内容の方向性				
A	A　現状維持	理由	地域コミュニテイの強化を図り、行政との協働を推進することは、今後、益々重要となる方向にある。	
	B　内容の見直し			
	C　統廃合・休止・終了			
事業規模の方向性				
B	A　事業拡大	理由	地域自治組織の主体的かつ積極的な活動を促す必要性から、現状維持とする。	
	B　現状維持			
	C　事業縮小			

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
23-2

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	10	01	02
細事業名	自治宝くじコミュニティ助成金					

担当部局	担当課長の氏名
市民部	
担当課等	担当課長の氏名
市民協働課	山副　隆司
	担当者の氏名
	吉田　茂喜

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅴ　パートナーシップ都市
	計画項目　（施策）	①　地域コミュニティの強化
	施策方針	1　地域自治活動への支援

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	地域コミュニティ活動に必要な設備等の整備に対し支援を行い、地域の健全な発展および自治の振興を図る。	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）
				事業採択件数を毎年6件とする。

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	地域コミュニティ組織を対象に、祭用備品整備、コミュニティ施設備品整備の支援を行った。 （溝谷区：祭用備品整備、赤坂区：コミュニティ施設備品整備、谷内区：祭用備品整備、徳光区：祭用備品整備、網野連合区：祭用備品整備）
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	5地区において、祭用備品又はコミュニティ施設備品の整備ができた。

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	19	12,500		国庫支出金		
				府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他	諸収入	12,500
				一般財源		0
事業費合計		12,500		合計		12,500

CHECK

評価				
目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか				
○	○　進捗している（できている）	理由	地域コミュニティにおいて要望のあった備品整備に対する支援ができた。	
	▲　少し遅れている（少しできていない）			
	×　遅れている（できていない）			
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか				
○	○　削減の余地がなかった	理由	自治宝くじコミュニティ助成金を活用して、多くの地区要望に応えられる事業であるため。	
	▲　少し削減の余地があった			
	×　削減の余地があった			

ACTION

改善			
事業内容の方向性			
A	A　現状維持	理由	財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業実施要領に基づき、事業を継続する。
	B　内容の見直し		
	C　統廃合・休止・終了		
事業規模の方向性			
B	A　事業拡大	理由	財団法人自治総合センターの方針による。
	B　現状維持		
	C　事業縮小		

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
23-3

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	10	02	02
細事業名	市民協働のまちづくり事業補助金					

担当部局	担当課長の氏名
市民部	
担当課等	担当者の氏名
市民協働課	山副　隆司
	吉田　茂喜

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅴ　パートナーシップ都市
	計画項目　（施策）	①　地域コミュニティの強化
	施策方針	1　地域自治活動への支援

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	地区等の要望に対し、迅速かつ柔軟に対応し、地域の健全な発展および自治の振興を図る。	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	迅速かつ確実に地区等の要望に対応し、自治の振興を図る。 （申請受付後2週間以内の交付決定を100%とする）

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	地区や地域住民で組織する団体に対し、地区所有施設整備事業、村おこし・地域づくり事業、緊急を要する事業等への支援を行った。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	149件の事業に対する支援を行うことで、地域の健全な発展および自治の振興に資することができた。

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	19	17,623		国庫支出金		
				府支出金	未来づくり交付金	7,500
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		10,123
事業費合計		17,623	合計			17,623

CHECK

評価				
目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか				
○	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	交付決定事務の迅速化に努め、多くの事業に対する支援を行うことができた。	
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか				
○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	地区等からの要望は多大であり、これに対応するためには削減の余地はなかった。	

ACTION

改善			
事業内容の方向性			
A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	迅速・柔軟に活用できる補助制度であるため、今後も継続すべきである。
事業規模の方向性			
B	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	地区等からのニーズも多く、現状のまま継続すべきである。

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
23-4

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	10	02	03
細事業名	地域まちづくり支援事業補助金					

担当部局	担当課長の氏名
市民部	
担当課等	担当課長の氏名
市民協働課	山副　隆司
	担当者の氏名
	吉田　茂喜

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅴ　パートナーシップ都市
	計画項目　（施策）	①　地域コミュニティの強化
	施策方針	1　地域自治活動への支援

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	地域住民が主体的に自らの手で地域を創造する取り組みを支援し、地域の健全な発展および自治の振興を図る。	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）
				自立した地域づくりを推進する地区等の増加。 （地域まちづくり計画の策定：30件）

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	地域の目指す目的、方針、施策、実施方法等を示した地域まちづくり計画を策定しようとする地区等に対し、計画策定のための支援を行った。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	1地区において、地域まちづくり計画が策定され、住民自らの手によるまちづくりが始動した。また、2地区において、計画策定のための調査が始まり、次年度に計画策定を行う予定となっている。

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	19	315		国庫支出金		
				府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		315
事業費合計		315	合計			315

CHECK

評価

目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか

▲	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	1地区で地域まちづくり計画が策定され、2地区において計画策定の調査事業が着手された。

効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか

○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	地域まちづくり計画の策定に意欲的な地区等が想定よりも多かったため、削減の余地はなかった。

ACTION

改善

事業内容の方向性

A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	地域まちづくり計画の必要性が徐々に地域へ浸透してきており、計画策定への意欲も高まりつつあるため、事業を継続すべきである。

事業規模の方向性

A	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	地域まちづくり計画の策定件数の目標を達成するためには、今後更なる支援が必要である。

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
23-5

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	10	06	01
細事業名	集会施設整備管理事業					

担当部局	担当課長の氏名
市民部	
担当課等	担当者の氏名
市民協働課	山副　隆司
	吉田　茂喜

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅴ　パートナーシップ都市
	計画項目　（施策）	①　地域コミュニティの強化
	施策方針	1　地域自治活動への支援

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	地域ｺﾐｭﾆﾃｨ活動の拠点となる集会施設の整備等に対し支援を行い、地域の健全な発展および自治の振興を図る。	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	地域住民自らが集会施設の管理を行うことで施設の利便性を高め、ｺﾐｭﾆﾃｨ活動の活性化を図る。

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	地区が行う集会施設の新築・修繕等事業経費に対し、補助金を交付し、支援を行った。また、市所有集会施設の火災保険料を負担した。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	1件の新築事業、11件の修繕等事業に対し補助金を交付することで、ｺﾐｭﾆﾃｨ活動の拠点整備が図られた。

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	12	226		国庫支出金		
	19	33,672		府支出金	未来づくり交付金	12,700
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		21,198
事業費合計		33,898	合計			33,898

CHECK

評価

目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか			
○	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	集会施設の新築・修繕等へ支援を行うことで、ｺﾐｭﾆﾃｨ活動の活性化が図られた。

効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか			
○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	集会施設の老朽化等により、地区からの修繕等の要望が多く、コスト削減の余地はなかった。

ACTION

改善

事業内容の方向性			
A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	多くの地区所有施設が老朽化していることもあり、現状どおり事業継続すべきである。

事業規模の方向性			
B	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	下水道接続時期等の事情により、年度によって事業規模が変動することもあるが、概ね現状を維持すべきものと考える。

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
23-6

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	10	09	01
細事業名	指定管理施設運営事業					

担当部局	担当課長の氏名
市民部	
担当課等	担当課長の氏名
市民協働課	山副　隆司
	担当者の氏名
	山下　琢

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅴ　パートナーシップ都市
	計画項目　（施策）	①　地域コミュニティの強化
	施策方針	1　地域自治活動への支援
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	地域コミュニティ活動を推進する拠点となる集会施設のうち、指定管理施設として地元区に管理を委託している集会施設の管理運営を適切に行う。
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	地域コミュニティ活動の活性化。

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	地元区に管理運営を委託している集会施設及び地元区を対象に、施設の適切な管理運営を行った。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	市有の集会施設の適切な維持管理。

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	11	305		国庫支出金		
	12	734		府支出金		
	13	13,219		起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		14,258
事業費合計		14,258		合計		14,258

CHECK

評価				
目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか				
○	○　進捗している（できている）	理由	市有の集会施設の適切な維持管理ができている。
	▲　少し遅れている（少しできていない）		
	×　遅れている（できていない）		
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか			
○	○　削減の余地がなかった	理由	住民サービスの向上、行政コストの削減を目的とした指定管理者制度を導入し、各地域の自治組織に管理運営を委託しており、コスト削減の余地は低いと考える。
	▲　少し削減の余地があった		
	×　削減の余地があった		

ACTION

改善			
事業内容の方向性			
A	A　現状維持	理由	地域コミュニティの強化を図るためには、地区集会施設の適切な維持管理を行う必要があるため、現状維持とする。
	B　内容の見直し		
	C　統廃合・休止・終了		
事業規模の方向性			
B	A　事業拡大	理由	地域コミュニティの強化を図るためには、地区集会施設の適切な維持管理を行う必要があるため、現状維持とする。
	B　現状維持		
	C　事業縮小		

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
23-7

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	10	10	01
細事業名	小規模集落支援事業					

担当部局	担当課長の氏名
市民部	
担当課等	担当課長の氏名
市民協働課	山副　隆司
	担当者の氏名
	荻野　正樹

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅴ　パートナーシップ都市
	計画項目　（施策）	①　地域コミュニティの強化
	施策方針	1　地域自治活動への支援

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	人口減少や高齢化等により著しく自治機能が低下しつつある小規模高齢化集落において、自治機能を維持するとともに、そこに暮らす住民の活力を取り戻し地域の発展に資する。	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入） 小規模集落の集落機能を維持するとともに地域の発展を図る。

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	65歳以上の住民が半数以上で、かつ、10戸未満の集落を対象に、集落外の人材を「水と緑の里づくり支援員」として配置し、対象集落の状況を把握するとともに、集落の運営をサポートする活動を実施。（6集落に支援員4人を配置）
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	丹後町上山、弥栄町須川、弥栄町中山、弥栄町大谷、弥栄町来見谷、久美浜町奥山の6集落に4人の支援員を配置し、集落支援活動を行った。

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	1	374		国庫支出金		
	9	34		府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		408
事業費合計		408		合計		408

CHECK

評価				
目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか				
○	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	集落運営をサポートする活動により、集落機能の維持及び地域の発展に貢献した。	
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか				
○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	支援員設置地区を拡大する方向にある。	

ACTION

改善				
事業内容の方向性				
A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	小規模集落への人的支援は、今後も進めていく必要がある。	
事業規模の方向性				
A	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	現在、対象となっていない地区からの強い要望もあり、対象集落を拡大する方向にある。	

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
24-1

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	10	02	01
細事業名	市民力活性化推進プロジェクト事業補助金					

担当部局	担当課長の氏名
市民部	
担当課等	担当課長の氏名
市民協働課	山副　隆司
	担当者の氏名
	山下　琢

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅴ　パートナーシップ都市	
	計画項目　（施策）	②　協働と共創のまちづくりの推進	
	施策方針	1　市民活動の促進	6　協働と共創の仕組みづくり
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	“市民力”を活かしたまちづくりを進めるために、地域の活力向上や課題解決を目的とした公益的・社会貢献的な事業に取り組む団体の活動支援を行う。	
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	事業企画書提出団体の増加 平成21年度13団体　⇒　平成26年度20団体	

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	補助事業企画書の提出のあった13団体のうち、11団体（2団体辞退）が実施する事業を補助事業として採択し、補助金による支援を行った。 【補助率】 〇補助対象経費の10分の10から2分の1以内の額 〇限度額は50万円、100万円、200万円（※団体により異なる）
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	市民活動団体によるまちづくり活動が活性化した。 市民活動団体による公共的なサービス事業が実施された。

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	19	7,070		国庫支出金		
				府支出金	未来づくり交付金	3,300
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		3,770
事業費合計		7,070	合計			7,070

CHECK

評価				
目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか				
〇	〇　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	市民活動団体による公益的・社会貢献的な事業が実施されている。	
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか				
〇	〇　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	補助対象事業の採択にあたっては、企画書提出団体から事業内容に関する詳細なヒアリングを行っており、事業実施に必要な経費のみを補助金として交付しており、削減の余地は低いと考える。	

ACTION

改善			
事業内容の方向性			
A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	各補助事業の受益者である市民に対し公共的なサービス提供ができており、同時に地域の活性化にも貢献しているなど、協働と共創のまちづくりを進めるために必要な施策であると判断し、現状維持とする。
事業規模の方向性			
B	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	補助金を活用した事業立案に関する相談が増えており、今後、補助金を活用した公益的・社会貢献的活動に取り組む市民活動団体が増えることが推測できるが、当面は現状維持とする。

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
24-2

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	10	02	07
細事業名	住民組織活性化支援事業					

担当部局	担当課長の氏名
市民部	
担当課等	担当者の氏名
市民協働課	山副　隆司
	山下　琢

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅴ　パートナーシップ都市
	計画項目　（施策）	②　協働と共創のまちづくりの推進
	施策方針	1　市民活動の促進

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	丹後町域の活性化を目的に、NPO法人気張る！ふるさと丹後町の活動支援を行った。	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	（財）地域活性化センターの合併市町村住民組織活性化支援事業を活用し、「特定非営利活動法人気張る！ふるさと丹後町」の活動に対して、補助金による活動支援を行うことで、丹後町域の活性化に資することができた。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	丹後町域の活性化

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	19	3,000		国庫支出金		
				府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他	諸収入	3,000
				一般財源		0
事業費合計		3,000		合計		3,000

CHECK

評価				
目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか				
○	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	平成21年度のみの単年度事業として実施し、丹後町域の活性化に資する目的を達成することができた。	
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか				
○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	団体への補助金全額を（財）地域活性化ｾﾝﾀｰの補助金でまかなっているため、市としてのコスト削減の余地はない。	

ACTION

改善			
事業内容の方向性			
C	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	（財）地域活性化センターの単年度の助成制度を活用した事業だったため、平成21年度のみの単年度事業として実施した。
事業規模の方向性			
	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
24-7

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	10	05	01
細事業名	地域まちづくり協議会運営事業					

担当部局	担当課長の氏名
市民部	
担当課等	担当課長の氏名
市民協働課	山副　隆司
	担当者の氏名
	荻野　正樹

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅴ　パートナーシップ都市
	計画項目　（施策）	②　協働と共創のまちづくりの推進
	施策方針	6　協働と共創の仕組みづくり

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	市民と行政との協働による地域の均衡ある発展を図るため、地域の振興施策等について市長等に提言を行う機関として、旧町域ごとに地域まちづくり協議会を設置し会議等を運営する。	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入） 旧町域ごとに設置された全ての地域まちづくり協議会が提言を提出し、地域の特色ある振興に資する。

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	地域の振興施策等について市長等に提言を行う機関として設置した地域まちづくり協議会の運営を行った。（委員報酬232千円・費用弁償11千円）
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	久美浜町地域まちづくり協議会から提言書が提出された。

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	1	232		国庫支出金		
	9	11		府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		243
事業費合計		243	合計			243

CHECK

評価				
目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか				
○	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	久美浜町地域まちづくり協議会から提言書が提出され、20年度からあわせて全ての地域まちづくり協議会から提言が提出されたことは、今後の地域の振興をはかるうえで大変有効である。	
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか				
○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	地域まちづくり協議会の開催経費（報酬・費用弁償）のみであり削減の余地がなかった。	

ACTION

改善			
事業内容の方向性			
C	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	市長に提言を提出した後、地域まちづくり協議会は発展的に解消し、新たな自治と協働のまちづくりに向けた組織のあり方を検討する必要がある。
事業規模の方向性			
	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
35-1

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	13	02	01
細事業名	防犯対策経費					

担当部局	
市民部	
担当課等	担当課長の氏名
市民協働課	山副　隆司
	担当者の氏名
	吉田　茂喜

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅵ　うるおい安全都市
	計画項目　（施策）	⑦　防犯・交通安全の推進
	施策方針	1　防犯体制の充実
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	市民の生活安全に関する意識の高揚を図ることにより、犯罪のない安全で安心なまちづくりを推進する。
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	市民の防犯意識の高揚による犯罪件数の減少。

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	京丹後市防犯委員会が中心となり、毎月15日を「京丹後市・防犯の日」と定めるなど、市民に対する防犯意識の高揚策を推進した。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	「京丹後市・防犯の日」の設定により、市民に対して防犯に関する意識の高揚を促す機会が増えた。

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	8	167		国庫支出金		
	9	63		府支出金		
	11	279		起債		
	12	59		分担金・負担金		
	14	1		その他		
	19	675				
				一般財源		1,244
事業費合計		1,244		合計		1,244

CHECK

評価				
目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか				
○	○　進捗している（できている）	理由	京丹後市犯罪のない安全で安心なまちづくり条例の制定により、市民に対する防犯意識の啓発が図られた。	
	▲　少し遅れている（少しできていない）			
	×　遅れている（できていない）			
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか				
○	○　削減の余地がなかった	理由	条例の推進組織として京丹後市防犯委員会が設置され、この委員会の活動を推進するためには、コスト削減の余地はなかった。	
	▲　少し削減の余地があった			
	×　削減の余地があった			

ACTION

改善			
事業内容の方向性			
A	A　現状維持	理由	市民の防犯意識の高揚に向け、京丹後市防犯委員会が中心となり、引き続き、啓発活動等を行う必要がある。
	B　内容の見直し		
	C　統廃合・休止・終了		
事業規模の方向性			
A	A　事業拡大	理由	新たに設定した毎月15日の「京丹後市・防犯の日」を広く市民に認識していただくため、広報啓発活動等について更なる展開が必要となる。
	B　現状維持		
	C　事業縮小		

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
35-3

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	11	02	01
細事業名	交通安全対策事業					

担当部局	担当課長の氏名
市民部	
担当課等	担当課長の氏名
市民協働課	山副　隆司
	担当者の氏名
	山下　琢

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅵ　うるおい安全都市
	計画項目　（施策）	⑦　防犯・交通安全の推進
	施策方針	5　交通安全意識の高揚
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	京丹後市内における交通事故防止の徹底と交通の円滑化を図り、関係機関と協力し交通死亡事故ゼロを目指す。
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	市民の交通安全意識の高揚による交通事故の減少。

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	全京丹後市民を対象に、児童生徒園児を対象にした交通安全教室、高齢者を対象にした運転技術講習会、幹線道路での交通安全プラカード掲出、スーパー等での啓発物品の配布等、種々の交通安全啓発事業を実施した。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	市民の交通安全意識が高揚した。

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	1	1,440		国庫支出金		
	8	10		府支出金		
	9	142		起債		
	11	680		分担金・負担金		
	12	76		その他		
	14	1				
	19	300				
				一般財源		2,649
事業費合計		2,649		合計		2,649

CHECK

評価				
目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか				
○	○　進捗している（できている）	理由	具体的効果、数値効果を測ることは困難であるが、事業目標の達成に向けて、種々の交通安全啓発活動を展開している。
	▲　少し遅れている（少しできていない）		
	×　遅れている（できていない）		
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか			
○	○　削減の余地がなかった	理由	市民を交通事故の脅威から守るために必要な事業であり、必要最低限の経費を計上しており妥当なコストである。
	▲　少し削減の余地があった		
	×　削減の余地があった		

ACTION

改善			
事業内容の方向性			
A	A　現状維持	理由	今後も継続して種々の交通安全啓発活動を展開する必要があるため、原状維持とする。
	B　内容の見直し		
	C　統廃合・休止・終了		
事業規模の方向性			
B	A　事業拡大	理由	市民の交通安全意識の醸成を図り、交通事故を減らすことを目的とする事業であり、現状維持とする。
	B　現状維持		
	C　事業縮小		

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
35-4

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	11	01	01
細事業名	市営駐車場管理事業					

担当部局	担当課長の氏名
市民部	
担当課等	担当課長の氏名
市民協働課	山副　隆司
	担当者の氏名
	荻野　正樹

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅵ　うるおい安全都市
	計画項目　（施策）	⑦　防犯・交通安全の推進
	施策方針	6　交通安全施設の整備

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	市への来訪者及び地域住民の駐車の便宜を図るとともに、道路駐車を防ぐことにより、道路機能を確保するなど市内の交通秩序を保持する。	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入） 道路駐車を防ぐことにより、交通秩序を保持する。

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	市への来訪者及び地域住民の駐車の便宜を図るとともに、道路駐車を防ぐことにより、道路機能を確保するなど市内の交通秩序を保持するため、市営駐車場（9箇所）の維持管理を行った。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	道路駐車を防ぐことにより、交通秩序を保持する。

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	11	248		国庫支出金		
	12	17		府支出金		
	13	84		起債		
	14	2,094		分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		2,443
事業費合計		2,443		合計		2,443

CHECK

評価				
目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか				
○	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	交通秩序を保持するとともに、公共交通の利用促進に貢献した。	
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか				
○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	公共交通の利用促進を図るための駐車場設置は推進する。	

ACTION

改善				
事業内容の方向性				
B	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	パークアンドライド駐車場（公共交通の利用促進を図るための駐車場）の設置を推進するとともに、市営駐車場全体のあり方を検討する。	
事業規模の方向性				
B	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	交通秩序を保持するとともに、公共交通の利用促進を図るうえで必要な事業であるため、現状を維持しつつ、それぞれの駐車場の有効性を検討する。	

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
35-5

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	11	03	01
細事業名	交通安全施設整備事業					

担当部局	担当課長の氏名
市民部	
担当課等	担当課長の氏名
市民協働課	山副　隆司
	担当者の氏名
	山下　琢

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅵ　うるおい安全都市
	計画項目　（施策）	⑦　防犯・交通安全の推進
	施策方針	6　交通安全施設の整備

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	夜間の犯罪の防止と交通事故防止を図るための防犯灯の設置及び交通危険箇所への啓発看板の設置を行う。	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	防犯灯設置数の増加。 交通安全看板設置数の増加。

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	全市民を夜間の犯罪及び交通事故から守るための防犯灯の設置及び更新を行った。また、交通危険箇所への啓発看板を設置した。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	防犯灯設置数（45灯）・交通安全看板設置数（1箇所）の増加。

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	15	2,324		国庫支出金		
				府支出金	未来づくり交付金	973
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		1,351
事業費合計		2,324	合計			2,324

CHECK

評価				
目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか				
○	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	地域からの要望に基づき、防犯灯及び看板の設置場所の検討を行い、順次設置を進めている。	
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか				
○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	地域からの要望が多くある中で、全ての要望を達成するまでにはまだまだ相当のコストが必要になってくると見込まれる。	

ACTION

改善				
事業内容の方向性				
A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	夜間の防犯交通安全の観点から、継続して実施する必要がある。	
事業規模の方向性				
B	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	地域からの要望に基づき、防犯灯及び看板の設置場所の検討を行い、設置を進めているが、防犯灯及び看板が必要な箇所はまだまだあり、継続して事業を実施する必要があるため、現状維持とする。	

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
35-6

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	11	03	02
細事業名	交通安全施設維持管理事業					

担当部局	担当課長の氏名
市民部	
担当課等	担当者の氏名
市民協働課	山副　隆司
	山下　琢

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅵ　うるおい安全都市
	計画項目　（施策）	⑦　防犯・交通安全の推進
	施策方針	6　交通安全施設の整備

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	防犯灯の電気代の支払い、電球交換、交通安全啓発看板等の維持管理を行う。	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	防犯灯・交通安全啓発看板の適切な維持管理。

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	市内に設置している防犯灯、交通安全啓発看板の適切な維持管理を行った。（防犯灯設置数：3,195灯※平成22年度当初）
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	防犯灯・交通安全啓発看板の適切な維持管理。

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	11	8,559		国庫支出金		
	13	109		府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		8,668
事業費合計		8,668		合計		8,668

CHECK

評価

目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか			
○	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	防犯灯、交通安全啓発看板等の適切な維持管理ができている。

効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか			
○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	防犯灯の電気代、電球交換等に係る経費は経常的に必要なものであり、点灯していないものを放置することはできないため、妥当なコストであると考える。

ACTION

改善

事業内容の方向性			
A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	市民を交通事故の脅威から守るために、交通安全施設の維持管理は継続して実施する必要がある。

事業規模の方向性			
B	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	現状と同等以上の規模での事業を実施する必要がある。

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
35-7

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	11	03	03
細事業名	防犯灯設置事業補助金					

担当部局	担当課長の氏名
市民部	
担当課等	担当者の氏名
市民協働課	山副　隆司
	山下　琢

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅵ　うるおい安全都市
	計画項目　（施策）	⑦　防犯・交通安全の推進
	施策方針	6　交通安全施設の整備

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	集落内の交通の安全と夜間の犯罪防止を目的に地区等が設置する防犯灯の設置費用を補助する。	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	集落内における夜間の交通事故及び犯罪を防止する。

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	集落内の交通の安全と夜間の犯罪防止を目的に防犯灯を設置する地区等に、防犯灯の設置工事費の補助を行った。 補助率：防犯灯の設置に必要となる経費10/10（※千円未満は切り捨て）
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	集落内の防犯灯の設置数（89灯）の増加。

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	19	2,885		国庫支出金		
				府支出金	未来づくり交付金	1,427
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		1,458
事業費合計		2,885		合計		2,885

CHECK

評価				
目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか				
○	○　進捗している（できている）	理由	防犯灯の設置数が増加することで、夜間の交通事故、犯罪の脅威から市民を守ることができている。
	▲　少し遅れている（少しできていない）		
	×　遅れている（できていない）		
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか			
○	○　削減の余地がなかった	理由	本事業は地区等が設置する防犯灯の初期投資にかかる経費の補助であり、設置後の電気代の支払い・電球交換等の維持管理は区の負担となるが、集落からの防犯灯設置要望はまだまだ多くあり削減の余地はないと考える。
	▲　少し削減の余地があった		
	×　削減の余地があった		

ACTION

改善			
事業内容の方向性			
A	A　現状維持	理由	夜間の防犯交通安全の観点から、集落内への防犯灯の増設は必要であり、現状維持とする。
	B　内容の見直し		
	C　統廃合・休止・終了		
事業規模の方向性			
B	A　事業拡大	理由	夜間の防犯交通安全の観点から、集落内への防犯灯の増設は必要であり、現状維持とする。
	B　現状維持		
	C　事業縮小		